

2021. 5. 19<計2枚>

文部科学記者会加盟社 各位
経済産業記者会加盟社 各位
経済産業省ペンクラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

地域の魅力と課題を探り、提案へつなげる社会実装型リカレント教育 立命館「チェンジ・メイカー育成プログラム」(第3期) 開講

立命館東京キャンパス(東京都千代田区、所長:宮下明大)は、社会課題を題材としたビジネスパーソン向け講座「チェンジ・メイカー育成プログラム」を開講いたします。

経済産業省では、VUCA(※)時代に求められる人材像として、課題の本質を見極め、様々な分野の個人・組織の力を集めて試行錯誤を繰り返し、状況を変化させられることができる「チェンジ・メイカー」を例示しています。また、「チェンジ・メイカー」のような人材となるためには社会課題の現場において、多様なステークホルダーとのさまざまな「摩擦」を経験する越境学習をすることが重要である点も指摘されています。

(※:Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字からなる造語。変化が大きく不確実であり、これまでの常識や想定が覆る予測困難な状況を意味します。)

本プログラムでは、長崎県雲仙市の協力を得て、東京での事前ワーク・セッションと現地でのフィールドワークを通して実際の企業や地域の課題を探り、限られた期間の中で、合意形成と解決策の提案へとつなげる実践的な PBL を実施します。受講生たちはチームを組み、異なる価値観の仲間との議論の整理・融合を通して、一人ひとりが「チェンジ・メイカー」になることを目指す実践型の人材育成プログラムです。

記

期 間:2021年9月~2021年11月 全8回

場 所:立命館東京キャンパスおよび長崎県雲仙市内

対 象:次期ビジネスリーダー候補人材

新規事業開発に取り組んでいる、あるいは取り組みたいと考えている方

DX や SDGs 事業に取り組んでいる、あるいは取り組みたいと考えている方

内 容:別紙ならびにプログラム HP(以下)をご参照ください。

http://www.ritsumeikan.ac.jp/tokyocampus/course_guide/detail/?course_id=3

募集人数:36人

受講料:148,000円 ※交通費(長崎県でのフィールドワーク含む)は別途自己負担

共 催:ジャパンラーニング株式会社

協 力:長崎県、長崎県雲仙市

※本プログラムは、2018年度経済産業省「未来の教室」実証事業・採択プログラムの後継プログラムです。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:中嶋 TEL. 075-813-8300 <http://www.ritsumeikan.ac.jp/>

別紙

■実施内容

日程	時間(予定)	場所	内容
① 9月4日(土)	13:00~18:00	東京	基礎講義、チームビルディング 他
② 9月9日(木)	19:00~21:30	東京*	課題理解と発見
③ 9月16日(木)	19:00~21:30	東京*	課題設定と解決策検討
④ 9月24日(金) ~26日(日)	9/24PM ~9/26AM	長崎県 雲仙市	長崎県雲仙市 フィールドワーク
⑤ 10月7日(木)	19:00~21:30	東京*	解決策検証
⑥ 10月21日(木)	19:00~21:30	東京*	検討と修正
⑦ 11月4日(木)	19:00~21:30	東京*	プレ発表
⑧ 11月13日(土)	13:00~17:00	調整中	成果報告会
11月18日(木)	19:00~20:30	東京*	リフレクション、EQ フィードバック

※1 新型コロナウイルス感染症拡大等の影響によりプログラムの一部を変更することがあります。

※2 場所に「*」のついた回は、遠隔地からのオンライン参加も可能です。

※3 「EQ テスト」受検と「キャリアカウンセラーによる面談」も行います。

EQ(Emotional Intelligence Quotient)は感情の知性、こころの知能指数ともいわれています。自分と他者の気持ちがわかり、感情を上手く調整する能力、「この人なら信頼できる、一緒に仕事がしたい」と思わせる人間的な魅力とも言い換えられます。ジャパンラーニング社が提供する Japan EQ と EQ トレーニングを活用し、普段と異なる環境での活動、地域との対話、多様な価値観との触れ合いなどを通して、行動特性にどのような変化が生まれるか、プログラム前後の変化を数値化し、成果を検証します。

■長崎県雲仙市(フィールドワーク先)のご紹介

今回のフィールドは、海と山に囲まれた温泉と食の宝庫「長崎県雲仙市」です。

701年、奈良時代の開山以来、多くの信仰や旅人、湯治客を受け入れてきた雲の上の避暑地、雲仙温泉。昭和9年には日本で最初の国立公園に指定されました。地球の鼓動のようにふつふつと湧き出る温泉、神秘的な山々、夜明けとともに聞こえる心地よい鳥の声。国内外を問わず、多くの人の生きる力をよみがえらせてきました。

一方で、人口減少に伴う地域活力の低下や、宿泊客の減少など多くの課題を抱えています。1300年の信仰と、受け継がれてきた豊かな土地の資産を、大切に守り育て伝えながら、新たな切り口で表現し、これまでにない価値を創造すべく、雲仙はいま、大きな変革期を迎えています。